



内田えつし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

ふるさと・浦安のために県政で全力

浦安市特集 6月県議会一般質問



6月県議会で一般質問に登壇する内田悦嗣県議(県議会議場)

地方行政を知る都市政策のエキスパートとして活動する内田悦嗣(うちだ・えつし)県議は浦安市選挙区選出は、県政で自立した首都圏の住宅都市・浦安の充実に力を注いでいます。1期目議員ながら着実に力をつけ、「政策への提言」「論理的な発言」「若さあふれる行動」が県議会ニューリーダーとして注目されています。

6月県議会では一般質問に登壇しました。「ふるさと浦安市のため、市民の声を県政で生かす」という地域優先の基本姿勢から京葉線と武蔵野線の「鉄道の改善」や分譲型集合住宅の「住宅政策充実」の要望質問を行ったほか、「浦安地区二期住宅地」「特別支援教育」「計画行政」について県当局を質しました。

県議会の質疑応答を1・2面で特集します。

内田 京葉線と武蔵野線が強風で度々運行中止になることについて、県としては対策をどのように考えているのか。

総合企画部長 京葉線の強風対策については、県と市町村で構成する「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」を通じ、JR東日本に対して要望してきました。

JR東日本では、これらを踏まえ、平成19年8月までに京葉線と武蔵野線の橋

梁計7カ所、約4・1キロにわたり、暴風柵を設けるなど対策を実施しました。

しかしながら、その後も強風による遅延や運休が発生し、沿線市からも改善を求める要望がありました。

県としては、「期成同盟」を通じ、更なる強風対策について、JR東日本に対して働きかけます。

内田 県として直接、JR東日本に働きかけていく考えはないのか。

総合企画部長 京葉線や武蔵野線に関する改善要望については、期成同盟内の総武線・京葉線・武蔵野線対策部会において、浦安市、市川市、船橋市等7市と県とで、地元の要望を検討し、その後55団体からなる期

成同盟全体の要望として、JR東日本に対して、働きかけを行っています。

このことにより、強風対策の実施や、京葉線と武蔵野線の増発など、要望の一定の成果が出てきているところです。

県としては、県と市町村が一丸となって要望することが効果的と考えており、今後とも、期成同盟を通じて粘り強く働き掛けていきたい。

要望 内田 房総への特急も通る県の重要な路線である京葉線・武蔵野線の強風対策について、対策費用を県で持つようなどまでしても取り組むよう強く要望する。

県JR線促進期成同盟

浦安から55団体で要望

京葉線の強風対策を

県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ

内田えつし 県事務所 TEL.047-351-6030

〒279-0041 浦安市堀江3-22-1

住宅、福祉教育、計画行政で県議会提言

浦安市民の生活視点で

6月県議会一般質問。自席で再質問を行う内田悦嗣県議



市川特別支援学校

市内で分校設置を検討

内田 特別支援学校において、重複障害に対応するための施設整備の状況はどのようになっているのか。

教育長 多様化の対応が重要で①エレベーター設置や車椅子トイレ等バリアフリー化②教室や体育館への暖房設備の設置③食堂や保健室への冷房設備の設置などを進めてきました。今後とも教育環境の整備に努めていきます。

内田 市川特別支援学校など

特別支援学校で児童生徒が増加し、高等部へ進学する生徒も増加しているが、今後、入学を希望する生徒に対してどのように対応していくのか。

教育長 県内の特別支援学校の児童生徒は、ここ10年間で小学部336人、中学部591人と増加しており、ご指摘の市川特別支援学校も全校で67人の増加となっています。

県教育委員会では特に増

計画行政の人口予想

内田 県内各市町村の人口推計と国立社会保障・人口問題研究所の人口推計との乖離について、県はどのように考えているのか。

知事 国立は国勢調査を基に出生・死亡・人口移動について分析し将来人口の

県内27年から減少傾向

推計が主眼です。

一方、市町村は厳しい予測や展望要素を加味した推計などさまざまなので、ある程度の乖離はやむを得ない。

内田 千葉県国土計画の中で、ゾーンごとの人口につ

都部の分譲型集合住宅 県が建替え支援の情報を

内田 分譲型集合住宅の維持・管理について、県としてどのように支援していくのか。

まちづくり担当部長 適切な維持管理には区分所有者や管理組合の主体的な取り組みが必要です。また老朽化が進む建物の増加が見込まれる中で、建て替えに関する計画や住民間の合意形成の必要性など課題も多いため、マンシヨンの建替えの円滑化に関する法律

に基づき、その趣旨や仕組みを周知するなど情報提供の支援が重要と考えています。

内田 分譲型集合住宅に関する施策について、県と市町村が協同して支援策を講じていくことが望ましいと考えるがどうか。

要望 内田 県内で差が出ないよう、必要な予算は一遍でつけていただくよう要望する。

等部への入学希望に対応した特別支援学校の分校・分教室を設置することとしたところだ。

高等部生徒の増加は、葛南地区を含めた全県的な問題であり、市内プロジェクトチームにおいて、引き続き具体的に検討を進め、高

等部への入学希望に対応して教育環境の充実に努めていきます。

内田 市川特別支援学校の分校設置について、どのように考えているか。

教育長 市川特別支援学校においても教室の合同使用や特別教室の多目的利用等

を行って対応しています。分校設置も市内プロジェクトチームにおいて、広域的な観点から検討を進めています。

要望 内田 県内で差が出ないよう、必要な予算は一遍でつけていただくよう要望する。

浦安地区第二期は機構と県市で連携

内田 浦安地区第二期住宅地は20年を経過して、当初は想定していなかった課題、問題点について、どのように認識しているのか。

企業庁長 京葉線開通をはじめ居住人口増に伴う環境の変化で課題が生じ、住宅地基本計画を3回見直した。駐車場不足や景観など個別問題には、浦安市の条例に基づく計画ガイドラインで対応、機構を含めた三者で協議・調整を図ります。

内田 平成7年改訂で、海辺のコア地区を設定した計画としたが、実際にはそのようになっていない。どのように認識しているのか。

企業庁長 海辺の魅力ある交流の場をすべく都市再生機構が整備を進めています。地元市と調整を図り整備されると思います。

要望 内田 分譲型集合住宅の建て替え等について、今後、住生活基本計画の中できちんと位置づけ、福祉分野、都市計画分野など各施策との整合、横断的な施策として県がインシニアチブをとり、市町村との連携を密にし、取り組むことを要望する。

要望 内田 企業庁として、事業収束、機構の撤退までに、市、機構と連携して、努力をしていただきたい。都市再生機構に対しても十分働きかけてほしい。

6月県議会自民党代表質問

財源不足への懸念を表明

6月定例県議会最大会派の自民党からは皆川輝夫議員(鎌ヶ谷市選出、四期目)が代表質問に登壇しました。

皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円の財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。

また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みを求めました。

浦安市特集
6月県議会一般質問
県政改革のニューリーダー
都市政策のエキスパート

うちだ悦嗣
内田えつし
県議